

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2022年7月26日時点)

- 露軍は「ウ」東部における地上戦及び南部におけるミサイル攻撃を、「ウ」軍は南部における反攻を継続している模様
- 「ウ」軍発表の露軍損耗は、人員約3万9870人、戦車1737両、装甲戦闘車3959両、固定翼機222機、ヘリ189機

7月23日、「ウ」軍は、露軍が「カリブル」巡航ミサイルにより、オデーサ商業港を攻撃したと発表。攻撃は、同22日、イスタンブールにおいて国連、トルコ、ウクライナ及びロシアが、ウクライナからの海路による穀物輸出に関し合意した直後に実施された。

7月24日、露国営通信は、オデーサ港への攻撃を認め、ドックに所在していた艦艇及び米が供与したハーブーン対艦ミサイルを破壊したと主張（英国防省は、露の攻撃に関し、露の主張する攻撃目標が存在していたことを示すものはないと指摘し、露は対艦ミサイルを脅威視している可能性が高いと分析）

7月26日、「ウ」軍は、露軍がミコライウ港を攻撃したと発表。ミコライウ港は、穀物及び植物油の輸出港として重要。



7月26日、「ウ」国営通信は、露軍戦闘機及び爆撃機がミサイルにより、オデーサ州南部ザトカを攻撃したと報道。ザトカは、オデーサ方面からドナウ川沿岸の河川港（穀物輸出に利用）に至る経路上に位置し、鉄道・道路併用橋があることから、露がこれまでも攻撃を加えている。

- 攻撃を受けたと報じられた地点
- ✈️ 攻撃を受けたと報じられた軍施設
- 💣 特に激しい戦闘が行われている地域
- 露軍が占領した地点

7月26日、「ウ」国営通信は、メリトポリ市長の話として、メリトポリを経由してヘルソン方面へ露軍が地上戦力を増派していると報道。

国土地理院標準地図を加工

資料源：ウクライナ政府機関ウェブサイト、ISW等